

平成29年度行政事業レビューシート (内閣府)									
事業名	避難計画等改善プロセス構築委託費			担当部局	政策統括官(原子力防災担当)付			作成責任者	
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	平成31年度	担当課室	参事官(地域防災・訓練担当)付			参事官(地域防災・訓練担当) 田中 邦典	
会計区分	エネルギー対策特別会計電源開発促進勘定								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第6項 特別会計に関する法律施行令第51条第7項第5号			関係する計画、通知等	防災基本計画(平成29年4月) 原子力災害対策指針(平成29年3月)				
主要政策・施策	国土強靱化施策			主要経費	エネルギー対策				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	立地道府県等は、地域原子力防災協議会において確認した緊急時対応に基づき訓練を行い、訓練結果から教訓を抽出し、その教訓を踏まえて当該地域における緊急時対応の改善を図ることとしている。本事業では、訓練企画立案、運営及び評価体制の構築に向けた準備を行い、道府県において緊急時対応の一層の改善に向けた質の高い訓練を実施することを目的としている。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①訓練体系の整備 訓練の目標設定、目標設定に応じた訓練項目(要素訓練、総合的な訓練等)の設定方法、訓練実施体制、訓練企画に関する手引きを整備 ②緊急時対応の検証に資する評価要領の整備 標準的な評価基準(採点方法)、評価体制、評価者の要件、評価結果の取りまとめ方法、抽出された課題及び改善方策レビュー方法の整備(共通課題、個別課題の類型化方法等)等の評価及び評価結果の活用に関する要領の整備								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	30	30		
	執行額	0	0	0					
	執行率(%)	-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	避難計画等改善プロセス構築委託費	30	30						
	その他	0	0						
	計	30	30						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 31 年度
	立地道府県等において質の高い訓練が実行できるような準備を行う。	各立地地域において行われる訓練のうち、本事業の成果物を参考にして実施した訓練の割合	成果実績	%	-	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	80
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
	活動実績									
訓練体系及び評価要領に係る調査・整備項目の数	活動実績	項目		-	-	-	-	-		
	当初見込み	項目		-	-	-	5	2		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	執行額/調査・整備項目の数	単位当たりコスト	百万円	-	-	-	6			
		計算式	/		-	-	-	30/5		
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	原子力防災対策の充実・強化(内閣府28-32(政策10-施策①))								
		施策	原子力防災対策の充実・強化(内閣府28-32(政策10-施策①))							
	測定指標		定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 29年度	目標年度 -年度
		市町村の地域防災計画(原子力災害対策編)策定状況(福島県内を除く)	実績値	市町村	121	121	121	-	-	
			目標値	市町村	-	122	122	122	-	
		市町村の避難計画策定状況(福島県内を除く)	実績値	市町村	83	93	98	-	-	
			目標値	市町村	-	122	122	122	-	
		地域原子力防災協議会、原子力防災会議における「地域の緊急時対応の確認、了承」の状況(確認・了済み地域数)	実績値	地域	1	3	5	-	-	
			目標値	地域	-	3	6	8	-	
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
		地域原子力防災協議会が関わる総合的な原子力防災訓練の実施状況	毎年度1地域	-	毎年度特定の1地域で行っている。					
					施策の進捗状況(実績)					
					平成26年度は志賀地域、平成27年度は伊方地域、平成28年度は泊地域で実施した。					
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
		本事業の実施により、より実効性のある避難計画の策定・改定を促進し、原子力防災対策を充実・強化する。								
改革項目	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-		
	達成度	%	-	-	-	-	-	-		
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-		
目標値		-	-	-	-	-	-			
達成度	%	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	原子力災害対策の充実・強化は住民の安全・安心の観点から重要であり、緊急時対応の更なる改善を図る観点から、立地道府県等において、質の高い訓練が行われることが必要。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	地域における原子力防災体制の充実・強化にあたって、国の積極的な支援が期待されている。立地道府県等において、自ら質の高い訓練を実施できるようにするため、国が標準的な訓練体系や評価要領を整備することが必要。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	原子力災害対策の更なる充実・強化を継続的に図る上で、質の高い訓練は必要不可欠である。このため、立地道府県等における訓練の質の向上は、喫緊の課題であり、優先して取り組む必要がある。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		<p>本事業は、地方公共団体において緊急時対応の一層の改善に向けた質の高い訓練を実施することを目的として、訓練企画立案、運営及び評価体制の構築に向けた準備を行うものである。訓練結果から教訓を抽出し、その教訓を踏まえて地域防災計画等に反映する。</p> <p>地方公共団体がこれらの地域防災計画に基づいて実施する原子力防災対策の費用について、原子力発電施設等緊急時安全対策交付金として支援する。</p>	
	所管府省名	事業番号		事業名
	内閣府	0050		原子力発電施設等緊急時安全対策交付金
点検・改善結果	点検結果	-		
	改善の方向性	-		
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めること。			

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

引き続き事業の適切な管理、予算の効率的執行に努めて参りたい。

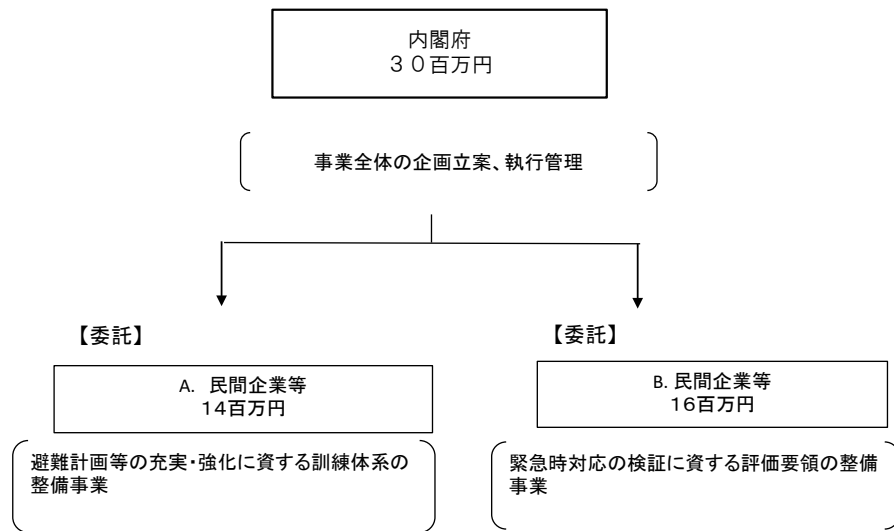
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	-					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.民間企業等			B.民間企業等		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	避難計画等の充実・強化に資する訓練体系の整備事業	14	事業費	緊急時対応の検証に資する評価要領の整備事業	16
計		14	計		16

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.民間企業等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	